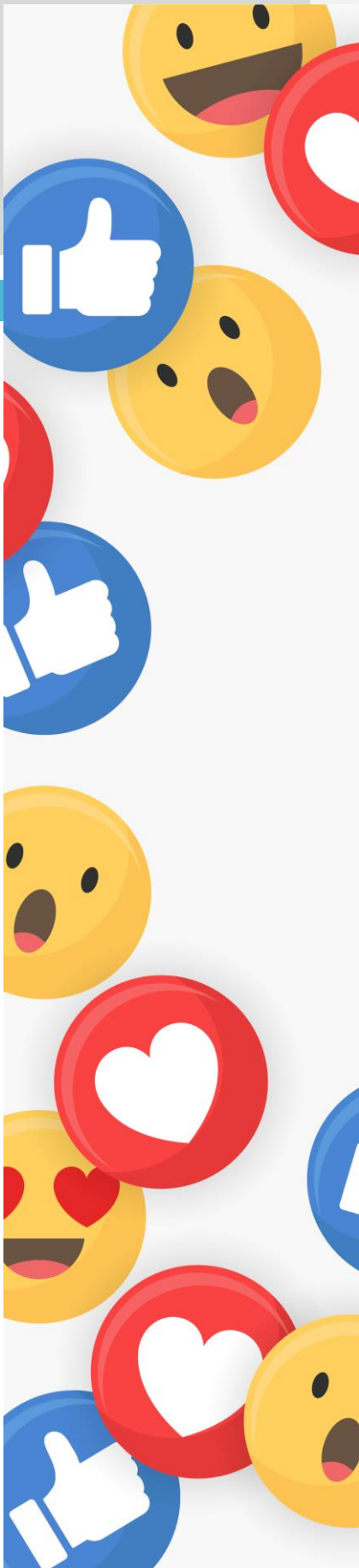


Full Speed

月刊SNSレポート 2022年6月号

Monthly **SNS** Report Vol.035



03 News

04 Facebook

05 Twitter

06 Instagram

08 Facebook/Instagram

09 LINE

10 YouTube

11 フルスピード事例紹介

12 Release

14 ソーシャルマーケティング事業部
Twitterアカウントのご紹介

SNS最新ニュースまとめ

SNSに関連する最新ニュースをご紹介します。

日付	SNS媒体	概要	詳細
5/26	 Facebook	▶Metaは、7月26日からプライバシーポリシーが更新されることを5月26日より通知しています。更新の理由としては、Metaのプライバシーに対する取り組みをより明確にするとのことです。	P.04
		https://about.fb.com/ja/news/2022/05/metas-updated-privacy-policy/	
5/4	 Twitter	▶Twitterは「Twitter サークル」として、特定のサークル内のユーザーとだけ会話ができるような機能を開発しました。これによって他者の目を気にせずにツイートができたり、アカウントを使い分けたりする必要がなくなります。	P.05
		https://blog.twitter.com/ja_jp/topics/product/2022/twittercircle_202204	
5/23	 Instagram	▶Instagramは、アプリロゴのデザインを刷新し、オリジナルフォント「Instagram Sans」を発表しました。ロゴは生き生きとした印象となり、フォントは、ロゴなどからインスパイアされたデザインとなっています。	P.06
		https://about.instagram.com/blog/announcements/instagram-visual-refresh	
5/10	 Instagram	▶Instagramは、米国の厳選されたクリエイターやコレクターとデジタルコレクターをテストして、作成または購入したNFTを共有し始めています。	P.07
		https://about.fb.com/news/2022/05/introducing-digital-collectibles-to-showcase-nfts-instagram/	
5/16	 Instagram Facebook	▶「広告トピック」と「興味・関心のカテゴリ」の管理機能の一つに統合するアップデートを行っています。利用者はより広範な広告トピックの設定ができるようになりました。	P.08
		https://about.fb.com/ja/news/2022/05/update-ad-control-experience	
4/13	 LINE	▶テキストや画像で記事を作成し投稿できる「LINE VOOM」に管理画面「LINE VOOM Studio」がリリースされました。最大31日間のデータを確認でき、366日間保管されます。	P.09
		https://www.linebiz.com/jp/news/20220413/	
5/24	 YouTube	▶YouTubeショートに広告を配信ができるようになりました。現在ショート動画に広告配信を行うことはできませんが、既にテストは行われており、徐々にすべての広告主が広告を配信できるようになるとのことです。	P.10
		https://support.google.com/google-ads/answer/12158560?hl=en	

【Facebook】プライバシーポリシーをアップデート

トピックス

Metaは、7月26日からプライバシーポリシーが更新されることを5月26日より通知しています。更新の理由は、Metaのプライバシーに対する取り組みをより明確にすることです。さらに利用規約もあわせて更新しており、5月26日から送られる通知より更新に関する情報にアクセスができます。利用者はその通知に対してアクションを取らなくても引き続き利用できるということです。

より安全なコミュニケーションを



出典：<https://about.fb.com/ja/news/2022/05/metas-updated-privacy-policy/>

Metaは7月26日よりプライバシーポリシーが更新されることを通知しています。プライバシーポリシーはサービス利用者やプライバシーに関する専門家からのフィードバックを元に更新しており、その目的はデータに関するMetaの取り組みをより明確にすることです。そのため、ポリシー全体に詳細な情報や例を追加しています。利用者が使用できる管理機能へのアクセス方法も追加し、引き続き、プライバシー設定を管理することができます。

さらに、利用規約も更新しているということです。これにはコミュニティ規定に記載された権利と義務が含まれ、権利と義務を侵害する場合はアカウントを停止または削除する可能性があることを説明しています。

プライバシー管理のアップデートとしては、

新しい共有範囲の管理：利用者がデフォルトの共有範囲を選択すると、特定の投稿に対して別の共有範囲を選択しない限り、Facebookで作成したタイムラインにシェアされる新規投稿にもデフォルトの共有範囲が適用されます。

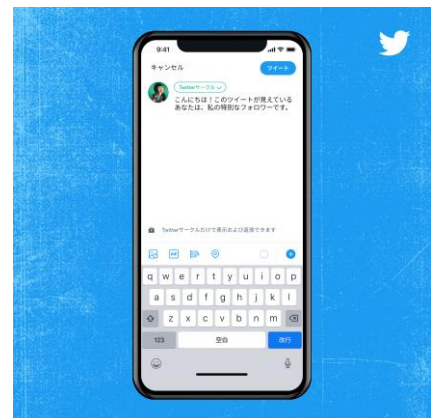
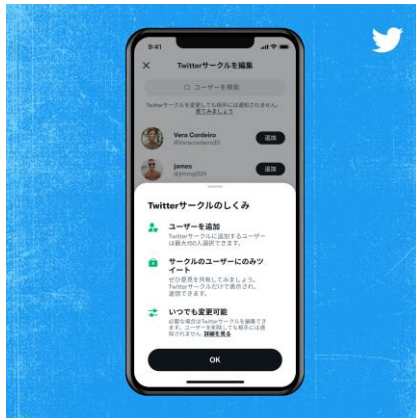
表示される広告の新しい管理方法：「広告トピック」と「興味・関心のカテゴリ」の管理機能が一つに統合されています。（p8にて記載）この管理機能はFacebookとInstagramからアクセスでき、より広範な広告トピックを管理することができるようになります。

【Twitter】 Twitter サークルで限定されたフォロワーとの会話を

トピックス

普段、“自分の仲間”とだけで話したいときがあると思います。Twitterは、「Twitter サークル」として、特定のサークル内のユーザーとだけ会話ができるような機能を開発しました。これによって他者の目を気にせずにツイートができたり、アカウントを使い分けたりする必要がなくなります。5月4日より順次機能の提供を開始しています。

特定のサークルの中で自由に発言



出典：https://blog.twitter.com/ja_jp/topics/product/2022/twittercircle_202204

Twitterサークルは、自分のコンテンツの共有相手や会話への参加者をツイートごとに自由に選べるようにする機能です。これにより、より親密な会話を少人数で楽しみ、身近な関係が構築できます。

ツイートする際に、共有相手をサークル内のみかフォロワー全体か選択できるようになります。ひとつのサークルにつき150人までメンバーを追加することができ、メンバーリストはいつでも編集可能です。サークル向けの投稿には、ツイートの下に緑色のバッジが表示されます。バッジ付きツイートはリツイートもシェアもできません。

Twitter サークルで可能になること:

- ・他の人の目を気にせずに自由にツイートし自分を表現できる。多くの利用者は、自分たちが気を許せる相手だけと安心して「自由なツイート」を楽しめるプライベートな空間を求めています。
- ・特定のメンバーと特定の話題に関するコンテンツを共有したり、あるいはランダムな話題で盛り上がりたりできる。
- ・裏アカウントや別アカウントを行き来する必要がなくなる。1つのアカウント内でツイートを共有するフォロワーを自由に変えることができれば、こうしたストレスも軽減されると考えられます。
- ・公開/非公開アカウントの切替えの手間がなくなる。アカウント設定をいちいち変えずに、ツイートごとに公開する相手を選ぶことができます。

【Instagram】ロゴデザインを刷新し、オリジナルフォントを発表

トピックス

Instagramは、アプリロゴのデザインを刷新し、オリジナルフォント「Instagram Sans」を発表しました。アプリロゴのグラデーションはより鮮やかな色で再考され、生き生きとした印象となりました。オリジナルフォントは、Instagramのアイデンティティを拡張するべく、ロゴなどからインスパイアされたデザインとなっています。

創造性、シンプルさ、自己表現を称えるデザイン



出典：<https://about.instagram.com/blog/announcements/instagram-visual-refresh>

Metaは、Instagramのアプリロゴの変更とオリジナルフォント「Instagram Sans」を発表しました。

アプリロゴに関しては、形は変わらないものの、拝啓のブランドカラーのグラデーションが微妙に変化し、明るい印象となりました。鮮やかなグラデーションは、革新的な3Dモデリングプロセスを使用して再考され、照らされているような感覚を与えます。

オリジナルフォント「Instagram Sans」はロゴの各丸四角にインスパイアされたデザイン。Instagramの伝統を念頭に置いて設計されており、複数のグローバルスクリプトが含まれています。公式サイトやマーケティングキャンペーンなどで使っていく予定とのこと。さらに、Instagram Sansは、ストーリーやリールなどの場所で、グローバルコミュニティがInstagramで自分自身を表現するための新しい方法でもあるとMetaは発表しています。このフォントは、アルファベットだけでなく、日本語やアラビア語、タイ語などにも対応するとのこと。

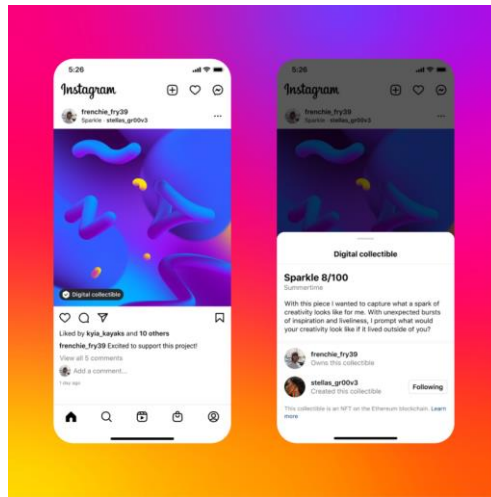
このアプリロゴの変化とオリジナルフォントの発表は、コンテンツを先取りし、創造性、シンプルさ、自己表現を称えているとInstagramは発表しています。

【Instagram】アメリカ一部にてNFTの投稿・共有機能のテストを開始

トピックス

Instagramは、米国の厳選されたクリエイターやコレクターとデジタルコレクターをテストして、作成または購入したNFTを共有できるように機能を更新し始めています。この機能には、デジタルウォレットの接続、デジタル収集品の共有、作成者とコレクターへの自動的なタグ付けが含まれます。

デジタルウォレットの接続、デジタル収集品の共有が可能に



出典：<https://about.fb.com/news/2022/05/introducing-digital-collectibles-to-showcase-nfts-instagram/>

アメリカの一部選ばれたクリエイターとコレクターがInstagram上でデジタルグッズを共有できるようになりました。

NFTの投稿・共有機能でできること

・デジタルウォレットの接続

接続するとクリエイターとコレクターは、ウォレットからInstagramで共有するNFTを選択できるようになります。

・デジタル収集品の共有

作成者またはコレクターがデジタル収集品を投稿すると、きらめく効果があり、NFTの説明などの公開情報を表示できます。

・作成者とコレクターの両方の自動タグ付け

作成者とコレクターは、デジタル収集可能な投稿に自動的にタグ付けさせることができます。

(プライバシー設定に従います。)

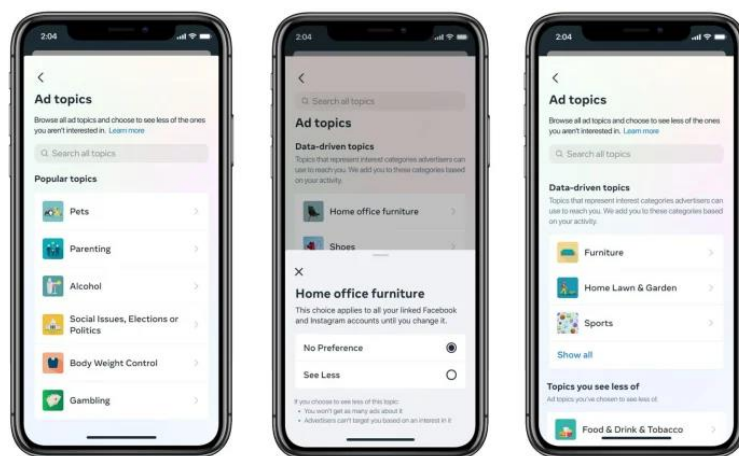
この分野での初期の取り組みが多様な声に力を与え、過小評価されたグループがNFTのような新しいデジタル資産にアクセスできることが重要であるとMetaは伝えています。

【Facebook/Instagram】 広告トピックの管理機能に関するアップデート

トピックス

Metaは、「広告トピック」と、「興味・関心のカテゴリ」の管理機能を一つに統合するアップデートを行っています。利用者は現在設定されている4つのトピックに加え、より広範な広告トピックの設定ができるようになりました。また、「表示を減らす」を選択すると、広告主は利用者の興味・関心に基づいてターゲティングすることができなくなります。

Facebook/Instagramにて広告管理機能がアップデート



出典：<https://about.fb.com/ja/news/2022/05/update-ad-control-experience/>

Metaは4月11日より「広告トピック」と「興味・関心のカテゴリ」の管理機能を一つに統合するアップデートを行っています。これによって以下のことが可能となります。

1. 利用者が広告トピックについてより理解を深めてもらうための透明性の向上

アップデートされた「広告トピックを管理」では、様々な広告トピックをこれまでよりさらに明確に説明しています。

2. 利用者に関連づけられたトピックによる広告体験を管理する機能の強化

「表示を減らす」を選択することで、そのトピックの広告表示頻度を減らすことができます。

3. 利用者がまだ関連付けられていないトピックの広告体験をプロアクティブに管理

「検索」セクションを導入することで、アプリ上での広告トピックの閲覧が可能になりました。「人気のトピック」の一覧も表示されます。さらに、検索したトピックにて「表示を減らす」を選択して広告の表示数を減らし、広告主が利用者へのリーチのために使う可能性のある興味・関心のターゲット設定から自身を除外できるように、事前に設定することができます。

これらの変更により、「興味・関心のカテゴリ」は広告表示の設定内の「広告のターゲット設定に使用されるカテゴリ」から削除されているとのことです。

【LINE】LINE VOOM専用管理画面「LINE VOOM Studio」リリース

トピックス

テキストや画像で記事を作成し投稿できる「LINE VOOM」に管理画面「LINE VOOM Studio」がリリースされました。以前はLINE VOOMタブから、Web版管理画面に遷移していましたが、変更後は「LINE VOOM Studio」に遷移し、最大31日間のデータを確認でき、366日間保管されます。

LINEアプリから簡単に始められる



出典：<https://www.linebiz.com/jp/news/20220413/>

投稿の作成をはじめ、投稿に関する分析やコメント管理など、「LINE VOOM」に関する機能を「LINE VOOM Studio」に集約し、各種機能が一部変更となりました。

■変更内容

- ・LINE VOOMタブをクリックした際の遷移先を変更
- ・分析タブ内のLINE VOOMに関する項目を移動
- ・分析のデータ集計期間の変更
- ・データの保存期間の変更

■変更前

- ・LINE VOOMタブから、Web版管理画面内のLINE VOOMメニューを表示
- ・分析タブ内でLINE VOOMに関する指標が表示
- ・分析のデータ集計期間は最大14日間
- ・データ保存期間の制限なし

■変更後

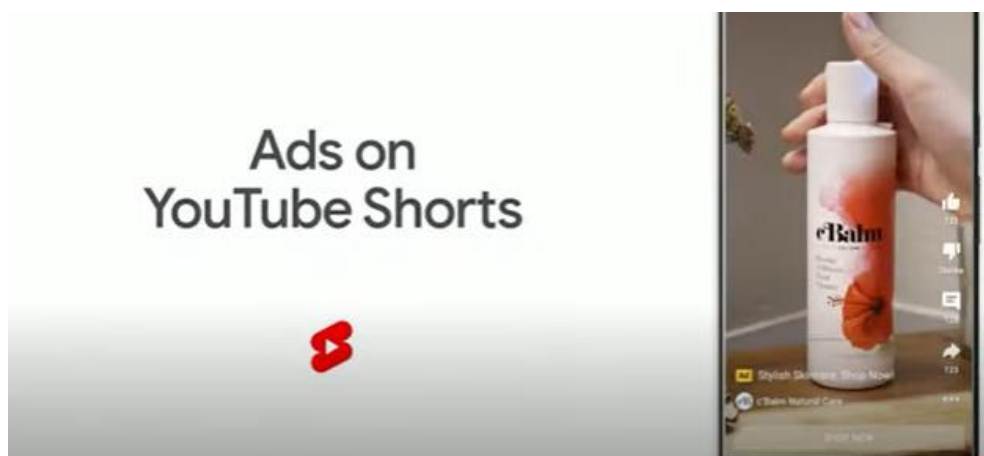
- ・LINE VOOMタブから、**「LINE VOOM Studio」に遷移**
- ・「LINE VOOM Studio」で**LINE VOOMに関する指標が表示**
- ・分析のデータ集計期間は**最大31日間**
- ・分析のデータ保管期間が**366日間に変更**

【YouTube】 YouTube ショートへの広告配信をフルローンチ

トピックス

Google Marketing Live 2022にて、Googleは、YouTubeショートに広告主が広告を配信できるようにすると発表しました。現在ショート動画に広告配信を行うことはできませんが、既にテストは行われており、徐々にすべての広告主が広告を配信できるようになるとのことです。

動画内の反応の良い箇所が分析できる？



出典：<https://support.google.com/google-ads/answer/12158560?hl=en>

2022年5月22日、Googleは同社の広告ならびにコマース関連プロダクト群に関する最新アップデートや、開発の方向性を発表するGoogle Marketing Live 2022を開催しました。

1分間の動画を配信できるYouTube ショート。動画を投稿するクリエイターが増えると同時に視聴するユーザーも増えており、なんと1日に平均300億回以上も再生されています。現時点ではショート動画に広告をつけることはできませんが、2022年まではYouTubeショートファンドより、合計1億ドルの報奨金が与えられるようになっていました。2023年からはどうなるのか気になるころでしたが、この度ショート動画で広告配信ができるようになること発表されました。実際、広告配信のテストは既に行われており、今後、世界中のすべての広告主がショート動画の広告を出せるように徐々に展開していくとのことです。

まだ詳細は発表されていませんが、どのタイミングで広告が表示されるのかや、広告が表示される動画のクリエイターにも収益が与えられるのかなどが気になるころです。

【Instagram広告】フォロワー獲得率511%！メーカー系運用事例

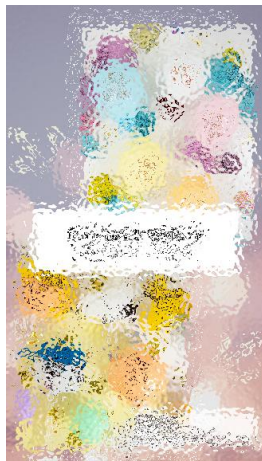
トピックス

キャラクターとタイアップ新商品を取り扱う運びとなり、そのキャラクターをアカウント運用と広告配信時のクリエイティブにて活用したことで、各単価を下げる事ができた事例です。

Instagram広告×キャラクター活用



▼広告用クリエイティブ



媒体	Instagram
実施時期	2019年1月～
背景	フォロワー数の獲得 / アカウントの認知
概要	売り上げ増加 / ブランドの認知獲得
広告目的	トラフィック目的
ターゲット	バルーン / キャラクター / ギフトに興味があるユーザー

施策内容 / 結果

Instagramアカウント投稿と広告でもキャラクター訴求バナーにて配信したことで、**フォロワー獲得数が511%**、アカウント自体の**エンゲージメント率は130%**となり、低単価で運用することが出来ました。通常アカウント運用で反応が良かったものを広告でも活用することは広告運用時のポイントとも言えるでしょう。

▼広告配信結果

- ・CPC : ¥5 (¥17→¥5)
- ・フォロワー獲得単価 : ¥99 (¥1,314→¥99)

2022年6月23日(木)
フルスピード開催ウェビナー

Instagram・Twitter・LINE PRにおける3大SNSの効果的な活用法とは？

SNSをはじめとするインターネットマーケティング支援を行う株式会社フルスピードは、「Instagram・Twitter・LINE PRにおける3大SNSの効果的な活用法とは？」と題した無料オンラインセミナーを2022年6月23日（木）11時より開催いたします。
また希望をいただいた方向けにSNSに関する個別相談会も実施いたします。

▼お申込みは下記 Web ページにて受け付けております。※6月21日（水）18時まで受付可能
<https://growthseed.jp/seminar/20220623-sns/>

▼弊社開催セミナー一覧

<http://www.fullspeed.co.jp/news/newest/seminar/>

■本セミナーはこのような方におすすめです

- ・ SNSでのPR活用を検討ならびに実際に担当されている企業の担当者
- ・ 企業アカウントを複数のSNSで運用、もしくはこれから開設を検討されている担当者
- ・ 企業の広報、マーケティング担当者
- ・ 企業のブランド責任者

※同業者さまのお申し込みはご遠慮いただいております。

■セミナー内容

11時00分～11時03分 ご挨拶・プログラム説明

11時03分～11時40分 Instagram・Twitter・LINEの活用ポイント

11時40分～12時00分 質疑応答 アンケート回答

12時00分～12時30分 個別相談会 ※希望者限定

※本セミナーでのコンテンツ内容、スケジュールは変更になる場合がございます。

Full Speed

Ad Technology & Marketing Company



オンライン開催・参加無料

Instagram・Twitter・LINE



PRにおける3大SNSの 効果的な活用法とは？

2022.6.23 木 11:00～12:00

株式会社フルスピード
ソーシャルメディアマーケティング事業部
ソーシャルメディアクリエイティブG

林 愛莉



フルスピード、ショート動画SNSの TikTok運用支援サービスを開始！

インターネットマーケティング支援を行う株式会社フルスピードは、今最も話題性のあるSNSと言われるショートムービープラットフォームTikTokの企業向け運用支援サービスを2022年5月より開始いたします。

<http://www.fullspeed.co.jp/press/6467/>

Full Speed

**TikTok
運用支援サービス**

Pinterest Consulting Service



■ サービス名

「TikTok運用支援サービス」

TikTokは、トレンドの発信拠点として楽しくポジティブな体験を提供することを目指したモバイル向けのショートムービープラットフォームです。アプリのダウンロード数や平均視聴時間は急激に伸びており、今最もホットなSNSといえます。

TikTokの機能の特徴は、ユーザーの反応を学習して次のユーザーへ届ける優秀なレコメンドシステムがあることです。これはTwitterやInstagramといったSNSが主流としている、フォロワーへ届ける仕組みとは異なり、TikTokはユーザーの興味に合わせたさまざまな動画が表示される仕組みがあります。これは大量の動画の中から好きなクリエイターやコンテンツを発見するのに役立ちます。また、全ての投稿が一定数のユーザーのフィードに必ず表示されるようになっているため、運用を始めたばかりや、投稿が滞ったようなアカウントも話題になる、いわゆる「バズる」チャンスがあります。

このような仕組みで、フォロワーにしか広がらない従来のレコメンドシステムでは出会えなかったファンを増やす事ができ、認知拡大に強みがあるのが特徴です。さらに、アカウントトップではInstagramやTwitter、YouTubeなど他媒体への遷移を促し、新たなユーザーをファン化していくための間口としても活用することができます。

このように企業プロモーション活用の面で考えてもさまざまな魅力を持つTikTokの運用支援サービスを、アカウント累計1,200以上の広告・運用実績があるSNSの専門部署を有している当社が、時流やニーズに応じて適切にご提供いたします。

■ サービス内容

① 初期設計

- ・アカウント開設/運用設計（運用コンセプト/ペルソナ/トーン&マナーの設計等）
- ・各種レギュレーション作成（運用ガイドライン/運用ポリシーなど）
- ・構成案作成

② 月次運用支援

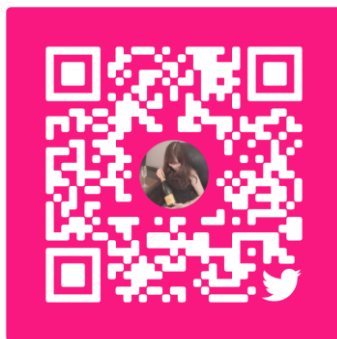
- ・動画撮影
- ・動画編集
- ・出演者へのディレクション
- ・投稿代行
- ・月次レポートニング
- ・月次報告会…など

ソーシャルマーケティング事業部 Twitterアカウントのご紹介

大和田雄大(Yudai Ohwada)
| SNSマーケ



らくりーむ



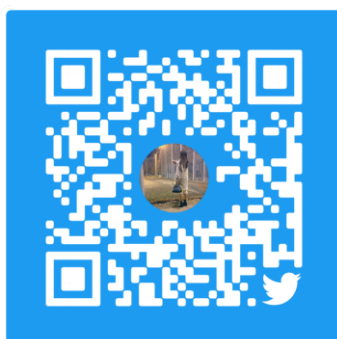
オナシ丸 | FS部屋所属



芦田央 SNSコンサル



こざかいさん | FS



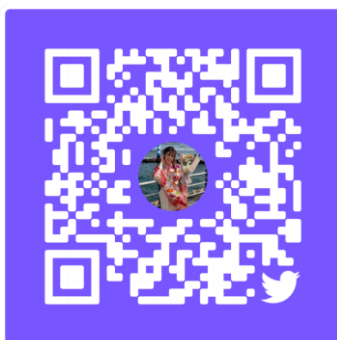
こじさん | YouTubeの業者をやっているキラキラしていないタイプの人、
こじれたおじさん | 根本碧



ずーこSNSコンサル



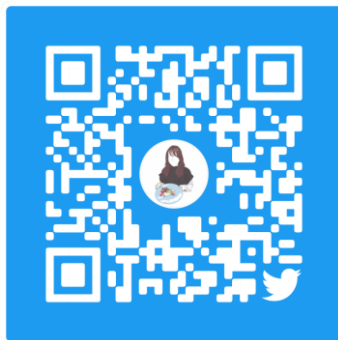
いしはらみほ



まうす@企業アカの中の人



はやぴ SNSマーケ



月刊SNSレポート 2022年6月号
Monthly SNS Report Vol.035

発行 2022年 6月 8日
発行者 ソーシャルメディアマーケティング事業部
SNSコンサルタント 林
発行所 株式会社フルスピード (<https://www.fullspeed.co.jp/>)
東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F
03-5457-7727

お問い合わせ 【Mail】 s-consul@fullspeed.co.jp

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた現時点での情報です。
2. 無断複製・無断配布・無断公開は禁止しております。

SNS最新
トレンド情報など
発信しています♪



Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”

